

公民館の地域管理について

公民館に「地域管理」の導入が有効な背景

- 1 価値観の変化・情報化進展等により、ライフスタイルが多様化しており、地域における様々な課題やニーズを把握し、より一層きめ細かく対応することが求められています。
- 2 少子超高齢化・核家族化の進展等により、地域社会のつながりが希薄化しており、市民一人ひとりが相互に学びあう機会が少なくなっています。

このような中、公民館の運営に（公財）千葉市教育振興財団を活用することにより、「学びを通じた地域づくりの拠点施設」としての役割等をより一層強化するとともに、運営を地域のみなさまに担っていただくことにより、「地域の絆づくりなど多世代交流の場としての機能」「地域人材のコーディネート機能」「防災拠点としての機能」を強化することも必要であると考えています。

1 地域管理を導入する効果及び課題

(1) 地域管理を導入する効果

公民館の管理を地域に担ってもらうにより、次のような効果が期待できる。

住民主体の地域課題の検討	地域の実情・課題等を的確に把握することができ、把握した課題解決のための講座等の開催や地域の特色を出した事業の実施が可能となる。
地域の人材ネットワークの活用	講座等で学んだ住民が、地域活動に参加するなど成果を地域に還元する仕組みが充実する。

(2) 地域管理の課題

公民館の地域管理を導入するにあたっては、次のような課題を整理する必要がある。

運営の公平性・透明性等の確保	地域の課題・ニーズ等に偏りなく対応するためには、対象区域(中学校区)全体で協力して取り組むことが必要。
安定的・継続的な組織の構築	市が定める公民館サービス水準等に対応した、施設管理や講座等の開催などの管理運営を行うためには安定的・継続的に活動できる体制が必要。

2 地域管理の導入方針

上記の地域管理の課題を踏まえ、公民館所管区域内全体で連携・協力して公民館を管理運営することについて合意形成がある地域については、「地域管理」を進めることを検討してまいります。

なお、サービス水準・継続性を担保するため、（公財）千葉市教育振興財団と連携・協力して取り組む体制を設け、それぞれのもつ専門性・ネットワーク等を活かしたサービス向上を目指します。